

キャリアモデル学習 A

(キャリアデザインとモデル)



国立大学法人福島大学
理工学群 共生システム理工学類
助教授 樋口 良之

連絡先 : higuchi@sss.fukushima-u.ac.jp
Webサイト : <http://www.hi-higuchi.com/>

1. キャリアの定義

1. 1 日本語のキャリアの一般的意味
該当分野で実際に場数を踏んだ経験年数
1. 2 英語のキャリアの一般的意味
経歴、履歴、生涯、特別なものを必要とする職業、
生涯の仕事、出世、成功
語源：ラテン語の「車道」
同意語：Course, chase, race, speed, tear
1. 3 現代社会におけるキャリアの意味
単に、職業人としての活躍の表記にとどまらない。
自己、家族、学校、夫妻、地域社会、職業社会、他、
それらの中での自己実現にも関連する。

2. キャリア・デザインに基づいた生き方

キャリアデザインの実体

- ・自己モデルの確立 …… 自己認識、理念確立、
(時には、行動規範の表記)
- ・将来パスの立案 …… 理念と自己の実現を追求するための
節目、分岐の認識と表記

- (1)自分らしい生き方を考察する。自分発見
- (2)意思(モデル)を持って行動する。モデル行動
- (3)必要な知識、技術を修得する。自己武装
- (4)適切な環境へ移動、適切な環境を創造する。環境変革
- (5)これらの努力や環境によって生じる結果を、感じながら、
適宜、評価しながら、幸せを感じながら、生きていく。

アブラハム マズロー(米国)の自己実現理論

「人間は、自己実現に向かって成長し続ける」
として、人間の欲求を五段階に区分した。

生理的欲求

安全の欲求

所属愛の欲求

自尊の欲求

自己実現の欲求

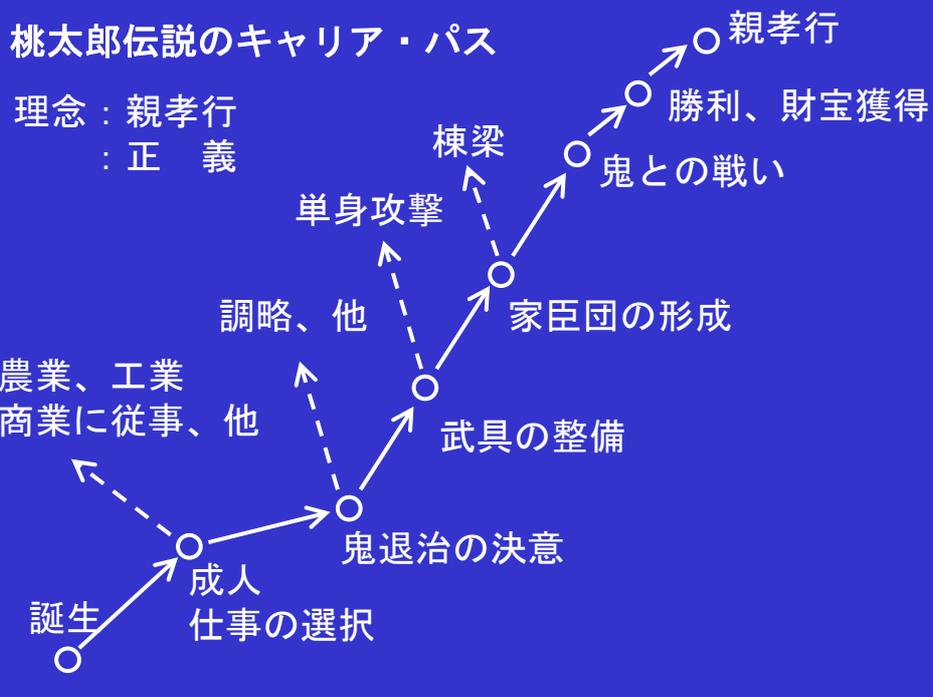
3. キャリア・パス

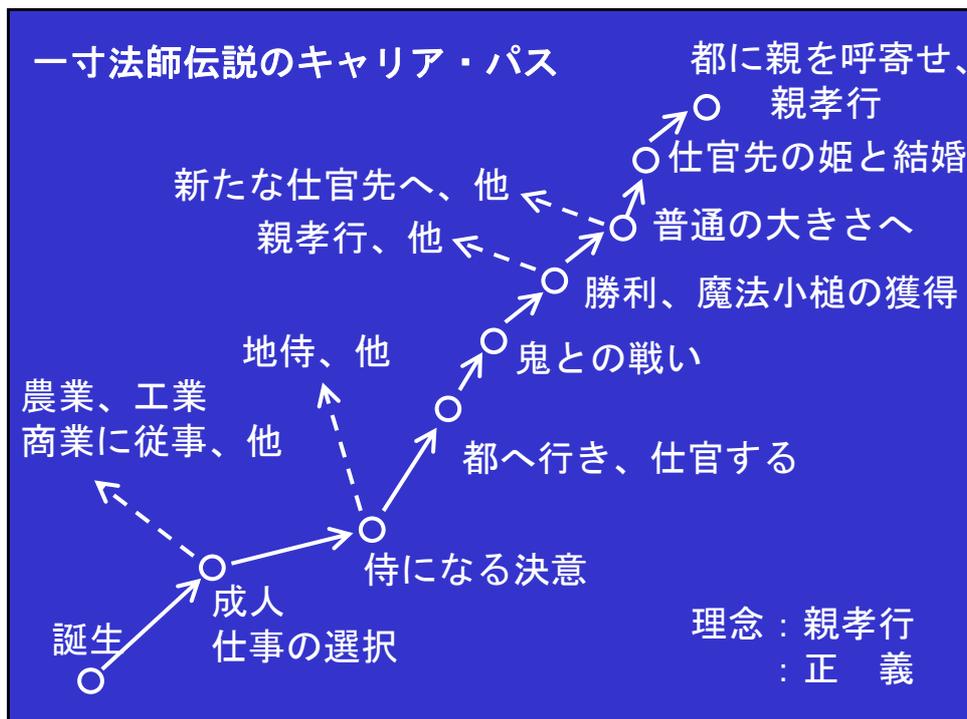
キャリア・パスは、理念遵守、目指している自己実現、目標へ至るまでの道である。その道には、多様な節目、分岐点が存在している。

同じ理念、目標であっても、各人の特性、環境によって、キャリア・パスは、全く異なる。

目標までの最短のキャリア・パスを計画することは悪くないが、無理な計画は、節目、節目の達成や自己実現を感じることはできず、幸せを実感できない、無味乾燥な行為の連続となったり、目標と現実の乖離に悩み、挫折する結果となる。

平均的、一般的なキャリア・パスは存在するのかもしれないが、その通り歩む人間は極めて少ない。





4. キャリア・モデル

キャリア・パスを過剰に意識すると、分岐点において、その時点の目的関数の最大化が強く影響し、理念を見失うこともある。

- ・ 自分の特質
- ・ 自分の幸せ、生きる価値、理念

を強く認識し、状況に応じた判断をしていく、自分らしいキャリア・モデルの確立こそが必要である。

常に、強く、自分の理念を意識することは、困難であるために、行動規範を表記し、適宜、自己点検を行うこともいいかも望ましい。

若いうちに理念を確立することは難しく、無謀と言われるかもしれない。しかし、追い求めなければ、それへの道は無い。